

# 新社長に高瀬健秀氏

## 建設業の「挑戦と進化続ける」 高瀬工業

### 3代目として事業承継

【美唄】建設業の高瀬工業（本社・茶志内）は、取締役会で社長を交代した。4日付で社長の高瀬謙二郎氏（67）が代表取締役社長に就任。創業者は新社長の



3代目の高瀬健秀社長

祖父に当たる故・高瀬由春氏で、今年で創業71年となる同族企業の3代目として事業承継した。高瀬健秀氏は岩見沢東高、札幌大経営学部卒。建設機械リース会社で営業経験を経て、2011年に入社。15年に専務取締役となり、後継者として5年間の事業経営の経験を

重ねたのを契機に世代交代した。高瀬社長は「創業者から続く歴史に先代や職員が紡いだ技術と経験がある。この社風を大切に、スピードと信頼を基本に挑戦と進化を続ける企業を目指したい」と抱負を語る。

また、「労働環境の改善は良いもの作りに直結していると考え、建設業界全体としても必須のこと」と高瀬社長。その上で「私なり

たこともあり、告知に十分できなかったけれど、大勢の市民でに

いた。毎月第2土曜日に開いているイベント。新

戸民には、協賛隊が日店した台湾茶を楽しむながら、各店の作家ら

本宅までとま作し10月10日に開く予定。【新田一寛】

たとして6席の身重器物損壊で逮捕した。☆美唄署は「日の入

のカラーを加え、革新的なことを行いたい」と決意を新たにしていた。若手経営者の一員として、事業かじ取りの責任の重さをかみしめている様子だった。

同社は1949年に創業。高瀬土木として石炭運搬から事業を興し、67年に高瀬工業を設立。97年から高瀬謙二郎氏が社長を23年務めた。主には現場整備事業など土木工事、土砂採取販売、骨材販売、

除雪委託事業。2019年度工事高実績は約9億1千万円。従業員30人。【五十嵐悟】

の二人は私にとって大変重要な作曲家」と話し、ベートーヴェン初期の「悲愴」や「月光」、ショパンの「2つの夜想曲」などを曲を演奏。川染さんが会長を務めるロシア音楽研究団

## 川染さんピアノリサイタル 演奏で聴衆を魅了

【美唄】昭和音楽大特任教授で北見市出身

のピアニスト川染雅嗣さん（66）川崎市在住のピアノリサイタルが13日、安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄アートスペースで開かれた。昨秋の

開催に続いて2回目で、約80人が聴き入った。今年はベートーヴェン生誕250年、ショパン生誕210年の記念の年。川染さんはこ



川染さんと栃原さんのピアノ連弾

体「日本アレンスキー協会」の会員で、美唄出身のピアニスト栃原享子さんが連弾客演した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、川染さん自身も7カ月ぶりの演奏となり、聴衆も感染防止対策のうえ実施された生演奏を楽しんでいた。【五十嵐悟】

地域の話題をお寄せ下さい  
美唄通信部  
☎(0126)64-4642  
☎(0126)64-4644

# 美唄